

もっと安心農産物 セロリー栽培暦（令和6年）

J A安房 館山市セロリ生産組合

1. 土づくり

・ 完熟堆肥を施用する（土壌還元消毒実施の場合は、堆肥は施用しない）

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量	
基肥	有機グレート（6-7-3 有機態 N6）	5 0 0 kg	
	有機配合（8-8-8 有機態 N2.6）	4 0 kg	
	または、L Pコート（N42）	6 0 kg	
	菜種粕	4 0 0 kg	

3. 防除

月	管 理 作 業	病 害 虫 の 発 生 推 移	薬 剤 名	希 釈 倍 数 ・ 処 理 量	対 象 病 害 虫	備 考 (耕 種 的 防 除 の 実 施 等)
8月上旬	は 種	ハモグリバエ・ヨトウムシ 軟 斑 病 腐 病 点 病 菌 核 病	土壌消毒と土づくりを兼ねて、土壌還元消毒を実施する			○害虫防除のため、ハウス開口部を寒冷紗等で覆う
中旬						
下旬						
9月上旬	移 植		トップジンM水和剤（予）	1500 倍	斑点病	○ 病害を減らすため、育苗ポットの配置間隔を拡げ通気をよくする ○ ヨトウムシの発生がある場合は、ランネート 45DF1000 倍を散布する ※但し、ハウス上部を剥がした時のみ
中旬	定 植		カスケード乳剤	4000 倍	マメハモグリバエ	○ハモグリバエ・アブラムシ発生源となるハウス周辺の除草を実施する
下旬						
10月上旬			アクタラ粒剤5	2 g／株	ハモグリバエ	○アブラムシの発生がある場合は、アドマヤフロアブル 4000 倍を散布する
中旬 下旬			ダニール 1000（予） アフーム乳剤	1000 倍 2000 倍	斑点病 ハモグリバエ	または、モスピラン顆粒水溶剤 4000 倍を散布する
11月上旬			コテツフロアブル	2000 倍	ヨトウムシ	○芯やけた枯死部位から菌核病が感染しやすくなるので注意する
中旬			Zボルドー（予） アフーム乳剤	500 倍 2000 倍	腐病病 マメハモグリバエ	○斑点病の発生が多い場合は、アミスター20フロアブル 2000 倍を散布する。
下旬			アミスター 20フロアブル（治）	2000 倍	斑点病	○ヨトウムシ・ハモグリバエが多い場合はアフーム乳剤、カスケード乳剤を散布する
12月上旬						
中旬						○ハモグリバエの発生が多い場合は
下旬			アミスター 20フロアブル（治）	2000 倍	斑点病	トリガード液剤 1000 倍を散布する
1月上旬中旬						○ナメクジ防除にはスラゴを使用する
下旬	収 穫					